

平成24年11月7日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

日時	平成24年11月7日(月) 午後3時30分
場所	教育委員会室
開会	午後3時30分
閉会	午後4時21分
出席委員	
委員 長	横井利男
委員	雁部隆治
委員	鈴木みゆき
委員	阿部博道
教育長	横山信雄
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	小暮真人
庶務課長	岩佐一郎
学務課長	齋藤好正
指導室長	橋爪昭男
すみだ教育研究所長	渡部和美
生涯学習課長	金子しのぶ
スポーツ振興課長	中山賢治
あずま図書館長	村田里美

2 会議の概要

- **横井委員長** それでは教育委員会を始めたいと思います。本日の会議録署名人は阿部委員にお願いいたします。

議決事項第1

議案第50号「統合新図書館名称(案)について」の案件を上程し、あずま図書館長が説明する。

- **横井委員長** ただ今の説明についてご質問はございませんか。
- **雁部委員** 図書館の名前のつけ方ですが、寺島図書館とあずま図書館を統合した図書館という位置づけなのか、墨田区全体の中心図書館の位置づけなのか、名前のつけ方には配慮が必要です。区民あ

るいは地元の皆さんに愛される図書館にしたいというのであれば、公募という方法もあったかなと思います。個人的にはこの名前が良いかと思います。

- **横井委員長** 先ほどのご説明によると、教育委員会で決定するのではなく、議会で承認を受け、最終的には、区長が決定するということですね。
- **あずま図書館長** 議会に出す前に区長までの決裁を取ります。その前の段階で教育委員会としての案を決定していただくものです。
- **次長** 統合新図書館の名称を含む図書館の設置条例（案）は区長が作って議会に提出いたしますが、その前に教育委員会で名称案を決定し、区長へ決裁いたします。正式には区議会第4回定例会で、議案を議決いただいて決定となります。
- **横井委員長** 手順を踏み最終的に区長さんが議案を出し、議会で議決をいただく、その前の段階の案ですね。この案を作るときの前段階で、公募をしたらということですね。
- **次長** 以前、名称をつける際に議会からは、公募のご意見があったのですが、設置条例がありますので、その設置条例の中で考えさせていただきたい。ということで、説明してきました。今までそのような考え方で、名称を決めてきました。八広、立花、緑の名前の図書館です。地域にゆかりのある名前をつけてきた経緯があります。
- **雁部委員** 新図書館は、寺島図書館とあずま図書館を統合した図書館との位置づけですね。
- **あずま図書館長** はい。そうです。
- **横井委員長** 単純に考えれば他の図書館も地名をつけているので、今回も地名でというのは、納得できることです。今後のことを考えれば、公募をして、ご意向を聞くということも施設によっては、いいかもしれません。教育委員会では、ひきふね図書館という案でよろしいでしょうか。
- **横井委員長** それでは、議決事項第1議案第50号「統合新図書館名称（案）について」原案どおり決定することにしたいと思います。ご異議ございませんでしょうか。
（「異議なし」の声あり）
- **横井委員長** それでは、原案どおり決定いたします。

報告事項第1

「東京スカイツリー見学について」、資料1のとおり庶務課長が説明する。

- **横井委員長** 何かご質問はございませんか。
- **雁部委員** 14校だけが見学するのですか。他の学校は行かないのですか。
- **庶務課長** 今回、急遽でしたので、時間のない中、日程の組めた学校だけ、見学することになりました。来年度は、もっと早い時期から、調整していきたいと思います。なるべく多くの学校に参加いただけるように、調整をしていきたいと思います。
- **雁部委員** 第1展望台だけですか。
- **庶務課長** はい。そうです。
- **阿部委員** 見学に行く学年はどのように決めたのですか。
- **庶務課長** 対象は小学校の場合は3、4年生、中学生は、1～3年生です。
- **指導室長** 社会科見学ということでは、社会で習うことを踏まえて小学校の3、4年生を対象にしました。
- **横井委員長** 社会科では、3年生で墨田区の勉強をし、4年生では、東京都の勉強をします。

- **庶務課長** 来年度以降は、プラネタリウムも対象に入れて調整をしていきます。

報告事項第2

「旧西吾嬬小学校と曳舟中学校跡地への大学誘致に伴う施設の暫定使用終了について」、庶務課長が説明する。

- **横井委員長** 何かご質問はございませんか。
- **横井委員長** 何か特別大きな問題としてはございませんか。
- **庶務課長** 財産の位置づけとしては、来年度以降は教育財産ではなくなるという予定です。利用されている方々は、場所探しでご苦労されるかと思しますので、校長会を通じまして、近隣の小・中学校には、なるべくこのような方々の利用に配慮いただけるように働きかけをしていきたいと考えています。

報告事項第3「第1回いじめに関する有識者会議の開催について」指導室長が説明する。

- **横井委員長** 何かご質問はございませんか。
- **雁部委員** いじめの根本的な問題は学校の先生にあると思っています。学校公開にお伺いしたときに思ったのですが、若い先生が多いということと、先生が生徒と向き合っていないように感じました。ここが一番問題であり、先生の指導力不足で、責任を負うのは校長先生です。学校の経営的観点から言うと、教師と子どもの信頼関係が築かれていない。そこが第一の原因だと思います。先生方が子ども達と向き合う時間が少なすぎます。副校長先生の激務も問題になっていますが、本来必要な教育問題よりも、雑務が多すぎます。雑務を解消していかないと、先生と子どもが向き合う時間が作れないと思います。先生と子どもが向き合う時間を作るためのICTの導入がうまく活用されていない。いかに雑務をなくすかは、学校だけの問題ではなく、システム上の問題もあると思いますので、教育委員会が率先して改革していかないと、いけない。何がいけないかということから始めないと、一時的にいじめの問題だけを解決をしても、その場かぎりで終わってしまう。システムから変えていかないといけないと思います。
- **横井委員長** いままでのいじめ対策だけだと当面見えるいじめだけの対応策になってしまいます。今お話のあったことだと、平成25年度における主要な教育課題案で丁寧にお話できるかと思っています。機会があれば、教育委員からこのような話があったとお伝えいただければと思います。
- **横井委員長** 他によろしいでしょうか。

報告事項第4「第59回墨田区文化祭受賞者一覧について」資料2のとおり生涯学習課長が説明する。

- **横井委員長** 何かご質問はございませんか。
- **横井委員長** 他によろしいでしょうか。

報告事項第5「教育委員会の活性化に向けた検討について」庶務課長が説明する。

- **横井委員長** 教育委員会の活性化については、これまでもいろいろ話し合いまとめていただきましたが、何かご質問はございませんか。
- **横井委員長** 教育委員会の活性化については、このような方向で、いろいろ積み上げてますます活性化していきたいと思っています。

報告事項第6「平成25年度における主要な教育課題（案）について」指導室長が説明する。

○ **横井委員長** 何かご質問はございませんか。

○ **横井委員長** 先ほど雁部委員さんがおっしゃっていたのですが、子どもたちが授業に取り組む姿勢が受身に見えます。抽象的な言い方になりますが、子ども達が勉強をするときに何を指すかといいますと、一つは、問題があったときに答えが出せるようになる。問題解決ができるようになることが望ましい。学校教育は教科教育がメインになりますが、ある教科を勉強をして楽しいか、楽しくないかがあると思います。座標軸を考えていただき、勉強することが楽しい、楽しくない軸が横軸、縦軸には、問題解決ができる、できない、一番望ましいのは、その学習が楽しくて問題解決ができる。困るのは、勉強が楽しくなくて、問題解決ができないことです。ですから、先生、親御さんは、その学習が楽しくて問題解決ができる子どもを目指しているので、そこが目標になります。その次に残っている中で、勉強が楽しいけれども答えがでない。勉強が楽しくないけれども答えが出せる。どちらがいいのかと。多くの親や先生は、とりあえず、答えが出せるような勉強をさせたいと思ってしまうと思います。でも、本当は、答えはすぐに出せないけれど、勉強が楽しいという子どもを育てることが大事ではないかと思えます。確かな学力の定着と向上の、興味・関心を高める教育活動と書いてありますが、ここは非常に大事なところだと思います。どうしても、いかに効率よく答えを出せる子どもを育てるかということになってしまいがちですが、それは、雁部委員さんが言っていたことに通じると思うんですね。ですから、答えを出せることは大事ですが、勉強が楽しいと思うような授業をできたらいいなと思いました。もう一つ、いじめの問題に関わりますが、いじめの問題は人権尊重教育だと思います。人権教育のメインが同和教育であり、同和教育も正にいじめであります。そのような意識の元に人権尊重教育というのは、実はいじめの問題と考えます。対象を限定しての問題ではなく、異質なものを排除する、自分が面白くないときに誰かをターゲットにすることが、いかに卑劣なことかとわからせるような教育を進められたらいいなと思えますので、「確かな学力の定着と向上」「豊かな人間性の育成」は非常に重要だと思いました。

○ **鈴木委員** 教育実習の巡回でいろいろな区を回って思ったのですが、墨田区は人の配置が少ないと思いました。幼・小・中一貫教育をするのであれば、主幹、主任は幼稚園にはいなくてはならないです。墨田区の場合は、幼稚園に園長先生とクラス担任だけで、4月、5月は園長が出張してなくなってしまう。特別支援のお子さんが増えている中で、全国国公立幼稚園PTAの会長や、全国国公立幼稚園PTA連絡協議会の理事もいますし、園長先生が忙しいと思います。他区ですと、必ず副園長や主任がいますので、園長が出張しやすいこともあります。墨田区の場合は、その配慮が欠けているなと思います。先ほどの雁部さんのお話ですと、副校長が忙しい。管理職がものすごく忙しい状況になってしまうので、ここは、もう少し、人と物と仕組みの観点からなんとかならないのかなと思います。少なくとも主任は置いたほうがいいと思います。もう一つ思ったのは、社会に出て行くために、社会の視点として、キャリア教育を中学校で勉強すると、良いのかなと思います。今まさに教育は質が問われていまして、全員が大学に行くということではないけれども、自己肯定感、悠揚感の中に、自分がこういうことをやりたい、こういうことを目指して頑張りたいことを、社会という窓の中から見せてあげたい、と思います。もしできたら、社会につながっていく視点を入れていただけるといいかなと思いました。たとえば、地域の企業と結びつくなれば地域のいろいろな企業をお招きして勉強するのもいいかと思えます。

- **横井委員長** 他に何かご意見はございませんか。
- **横井委員長** 最終的には、いつ出来上がるのですか。
- **指導室長** 幹事校長会に提示し、次の教育委員会で決定していただければと思っています。
- **横井委員長** 私のほうからご報告ですが、先日10月31日に、図書館の図書を使った調べる学習コンクール第2回目では、小学生は提出数が多くて良かったのですが、前回は中学生の提出数が少なく、内容もどうかなと思うものがありました。今回は小・中学生ともに提出数も質的にも非常に良かったです。やはり、積極的に働きかけることが大事だと思いました。金賞、銀賞、努力賞を多く出しましたので、子ども達にとっても、良い刺激になるのではと思いました。
- **指導室長** 全国大会に送ったものは、次回にお示しします。
- **横井委員長** 他によろしいでしょうか。以上で予定の議決事項、報告事項は終了しました。これで教育委員会を閉会いたします。